

第3課 म जापानी हुँ।

(私は日本人です。)

会話文

श्यामजी शिक्षक हुनुहुन्छ कि डाक्टर?

श्यामさんは教師ですか、それとも医者ですか?

उहाँ यो गाउँको शिक्षक हुनुहुन्छ। उहाँ डाक्टर हुनुहुन्न।

彼はこの村の教師です。彼は医者ではありません。

त्यो को हो?

あれは誰ですか?

ऊ राम हो।

彼はラムです。

राम कुन देशको केटो हो?

ラムはどの国の男の子ですか?

ऊ नेपाली हो तर यो गाउँको केटो होइन।

彼はネパール人ですが、この村の男の子ではありません。

तपाईं नेपाली हुनुहुन्छ?

あなたはネパール人ですか?

अहँ, म नेपाली होइनँ, जापानी हुँ।

いいえ、私はネパール人ではありません。日本人です。

単語

ネパール語	発音	意味
तीन	tin	3、3つの
श्याम	syām	श्याム(男子名)
शिक्षक	sikṣak	教師
हुनुहुन्छ	hunuhuncha	～でいらっしゃる
कि	ki	あるいは、または

ネパール語	発音	意味
डाक्टर	dāktar	医者
उहाँ	wahā	彼/彼女(丁寧)
गाउँ	gāū	村
हुनुहुन्न	hunuhunna	～でいらっしゃらない
को	ko	誰
ऊ	u	彼/彼女(カジュアル)
कुन	kun	どの
देश	des	国
केटो	keṭo	少年、男子
नेपाली	nepālī	ネパールの/ネパール人
अहँ	ahā	いいえ
म	ma	私
होइनँ	hoinā	～ではない(私)
जापानी	jāpānī	日本の/日本人
हुँ	hū	～である(私)

文法解説

① ऊ と उहाँ — 「彼/彼女」の2つの言い方

今回、新しい代名詞が2つ出てきました。ऊ(彼/彼女)と उहाँ(彼/彼女)です。どちらも意味は同じですが、話す相手への敬意の度合いが違います。

- ऊ → 友達や目下の人について話すとき(カジュアル)
- उहाँ → 目上の人や、敬意を払いたい相手について話すとき(丁寧)

同じように、「あなた」も तिमि(カジュアル)と तपाईं(丁寧)の2種類があります。会話で先生や年上の人と話すときは तपाईं・उहाँ を使えば間違いありません。

ポイント: 今の段階では म・ऊ・तपाईं・उहाँ の4つだけ覚えれば十分です。

② हो は誰について話すかで形が変わる

日本語の「です」は誰について言っても形が変わりませんが、ネパール語の हो は主語によって形が変わります。今回の会話で使われている形だけ覚えれば大丈夫です。

誰について話すか	代名詞	「～です」	「～ではない」
自分(私)	म	हूँ	होइनँ
友達・目下の人(彼/彼女)	ऊ	हो	होइन
目上の人・丁寧に(あなた/彼・彼女)	तपाईं / उहाँ	हुनुहुन्छ	हुनुहुन्न

- म हूँ。→ 私は～です。
- ऊ हो。/ ऊ होइन。→ 彼は～です。/ 彼は～ではありません。
- तपाईं/उहाँ हुनुहुन्छ? / हुनुहुन्न。→ あなた/彼は～でいらっしゃいますか?/ ではありません。

ポイント: **हुनुहुन्छ/हुनुहुन्न** は、**तपाईं(あなた)**にも **उहाँ(彼/彼女、丁寧)**にも同じ形を使います。丁寧に話すときはこの1セットだけ覚えれば会話が回せます。

③ नेपाली・जापानी — 「～の」が「～人」にもなる

नेपाली(ネパールの)と जापानी(日本の)は、本来は形容詞です。でも後ろの名詞(人・言語など)を省略して単独で使うと、「ネパール人」「日本人」という意味になります。

- म जापानी हूँ。→ 私は日本人です。(「日本の(人)」の(人)が省略された形)
- ऊ नेपाली हो。→ 彼はネパール人です。

ポイント: 日本語でも「これは日本の(製品)です」の(製品)を省略して「これは日本のです」とは言いませんが、ネパール語では逆に、名詞を省略した形の方がよく使われます。「～の」であり同時に「～人/～語」でもある、と覚えておけば OK です。